

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	太良町立多良小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	20
児童数	46	58	56	67	63	56	1	347	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、確かな学力を身につけていく子どもの育成
～一人一人を大切にした算数科の指導を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 算数
全学年とも学力検査の結果から、数学的な考え方、特に文章問題において多様な考えを持たせながら自力解決をさせることを主眼に研究を進めていくため。

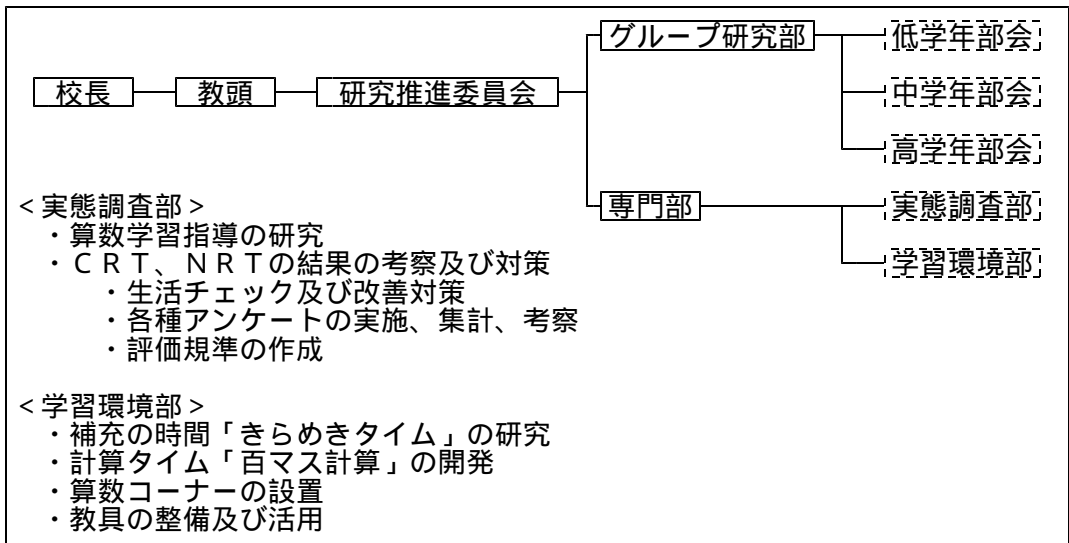
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 算数科を中心に、一人一人の児童に満足のいくきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力を身につけさせ、個々の力を最大限に生かそうとする子どもを育てる。</p> <p>研究の見通し ・少人数授業などきめ細かな指導を算数科を通して実施することにより、自ら進んで学び、自ら考え、問題を解決する「生きる力」を伸ばすようになること。 ・文章問題の解き方を学習する「きらめきタイム」を通して、多様な考えや問題解決に必要な基本的な力を身につけ、進んで取り組むようになること。</p> <p>研究の内容 ・意欲を持って学ぶ児童を育てる指導方法を研究する。 ・基礎的・基本的な内容を確実に身につけるための指導方法の改善を図る。</p> <p>研究の方法 ・少人数授業などきめ細かな指導を工夫・充実し、多様な考え方を身につけさせる。 ・文章題の解き方を身につけさせる手だてを開発する。 ・評価規準について研究する。 ・C R T、N R T検査を活用し、全体指導や個別指導の工夫を行う。 ・基礎的、補充的、発展的なプリント、習熟度に応じたプリントを開発する。 ・計算力アップのための工夫や補充学習の「きらめきタイム」を実施する。 ・小・中学校の授業研究会の交流を通して指導内容や指導方法の在り方を研究する。 ・先進校視察による研究をする。 ・講師招聘による研究をする。</p>
--------	--

平成16年	<p>テーマ 算数科を中心に、一人一人の児童が自信を持って取り組み、確かで豊かな学力を身につける子どもを育てる。</p>
-------	--

度	<p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な内容を身につけるとともに、様々な考え方を身につけ問題解決をしていく「生きる力」を伸ばすようになること。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の成果と課題の把握 ・少人数授業などきめ細かな指導の工夫・充実と多様な考え方の指導 ・C R T、N R T検査の活用と全体指導や個別指導の工夫 ・児童の日常生活一般の指導及び改善の推進 ・家庭学習の工夫、充実 ・先進校視察による研究 ・講師招聘による研究
---	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

C R T学力検査の実施は2月上旬なので、数字としての客観的な結果がまだ出ていない。

補充の時間「きらめきタイム」を特設して、懸案の「文章問題」に対処する指導方法を研究した。

【特設時間】

- ・毎週水曜日5校時（1～3年）
- ・毎週月曜日6校時（4～6年）

【コースの分け方】

下位、中位、上位の習熟度別でコースに分ける。レディネステストの結果から児童に判断させる。

《下位コース》

- ・一斉指導の中に操作活動などを取り入れることで数量についての感覚を豊かにし、意味理解を深める。

《中位コース》

- ・一斉指導で例題やチャレンジ問題に取り組んでいくことで問題文のキーワードを見つけたり、問題の内容を絵や線分図に表したりする力をつける。

《上位コース》

- ・チャレンジ問題が終わった後、自分の力で問題作りをする。数多く練習問題に取り組むのではなく、自分の日常生活から問題作りをすることで、数学的なものの見方を育てる。

【ノート指導】

問題に書かれていることを自分の考えたやり方で、絵や図にかいて表す段階を大切にする。

例題文を書き写して、印をつけみんなで解く。(一斉指導)

- ・分かっていること
- ・たずねられていること
- ・考えるヒントになること

チャレンジ問題も同様にして個人で解く。

- ・アンサーボールで学習の進み具合を教師に知らせる。

(青)「今やっています」「終わりました」

(赤)「分かりません」(個別指導)

終わった児童は、問題作りをする。

本時の学習を振り返り、各自感想を書く。

本年度の成果

自分に適したコースで学習できるので、意欲が増している。

自力解決の時間を十分にとるので、絵や線分図で自分なりに表現できる。

自分では考えつかなかった友だちの考え方を知ることができる。

正規の算数の授業にもこの学習方法を取り入れることができるので、多様な考えが出やすい。

自分のペースで進むことができるので、じっくり考えることができる。

投げやりになりがちな児童も、同レベルの友だちに刺激されて問題に取り組む姿勢が出てきている。

上位コースの児童は、かなりのハイスピードで問題作成ができ発展学習ができる。

単元末のテストの問題文にも印をつけてじっくり考えるようになった。

2. 今後の課題

- ・少人数授業(習熟度別)におけるコース選択の仕方
- ・少人数授業(習熟度別)の単元での位置づけの仕方
- ・観点別評価基準(A基準、B基準)の確立と授業時の評価の仕方
- ・打ち合わせ時間の確保
- ・既習事項(基礎学力)を忘却させないための工夫
- ・学業連携の強化(児童の生活改善のための地域及び家庭と学校との連携)

学力等把握のための学校としての取組

- ・ CRT 及び NRT の検査結果の利用
- ・ 目的：前年度と比較することにより児童の学力の状況把握を行い、不十分な観点や領域を伸ばす資料とする。
- ・ 内容：昨年度(14年度)と今年度(15年度)の CRT 及び NRT の検査を実施する。
 - ・ CRT：14年度と15年度の結果を比較し、落ち込みの観点を把握し、16年度に生かす。
 - ・ NRT：15年度と16年度を比較し、16年度の指導に生かす。
- ・ 時期：CRT 平成15年2月と平成16年2月
NRT 平成15年4月と平成16年4月

家庭における学習状況アンケート

- ・ 目的：児童の家庭での学習状況を把握して指導に生かし且つその変容を把握するため。
- ・ 内容：
 1. 平日の勉強時間(しないから30分ごとに2時間以上まで)
 2. 平日はいつ勉強しているか(4項目設定)
 3. 休日の勉強時間(しないから30分ごとに2時間以上まで)
 4. 休日はいつ勉強しているか(4項目設定)
 5. 平日の勉強内容(9項目設定)
 6. 休日の勉強内容(9項目設定)
 7. 勉強する場所(6項目設定)
 8. テレビを見ながらの勉強(いいえ はい)
- ・ 時期：1学期及び内容を若干変えて3学期

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

町内教職員全体研修会

- ・日時：平成15年8月21日 13時15分～16時30分
- ・場所：太良町中央公民館視聴覚室
- ・対象：町内小・中学校教職員
- ・目的：太良町内小・中学校の喫緊の課題である学力向上推進のために、各学校の取り組み状況の情報交換を行う。また、学校ぐるみ・町ぐるみの運動となるための方途を探ることを目的とする。

公開授業研究会

- ・日時：平成15年11月7日 14時10分～16時30分
平成16年2月3日 13時40分～16時40分
- ・場所：多良小学校
- ・対象：県内の小・中学校教職員及び教育関係者、町内の民政児童委員・地区の区長・本校の保護者
- ・目的：本校の実践を紹介及び授業を公開することにより他の学校へ普及させること、また、町内の教育関係者及び保護者へ公開することにより本校の取組を理解してもらうことを目的とする。

研究成果普及のためのパンフレット作成及び配布

- ・期日：平成15年7月、平成16年3月
- ・対象：町内小・中学校教職員及びその保護者

研究成果普及のための研究紀要作成及び配布

- ・期日：平成16年3月
- ・対象：町内小・中学校

研究成果普及のためのHP作成

- ・内容：1年間の実績及び成果等の掲載（予定）

-
- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 TTによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無